



# ステッカー印刷 (切り抜きタイプ・ダイカット)

## 画像形式でのデータ作成について

2023年3月更新



ステッカー印刷のご注文では、  
画像形式でのご入稿における、photoshop用テンプレート(.psd形式)のご提供を行っておりません。  
ご希望の仕上がり形状のご案内に沿って、データの「新規作成」をお願いいたします。

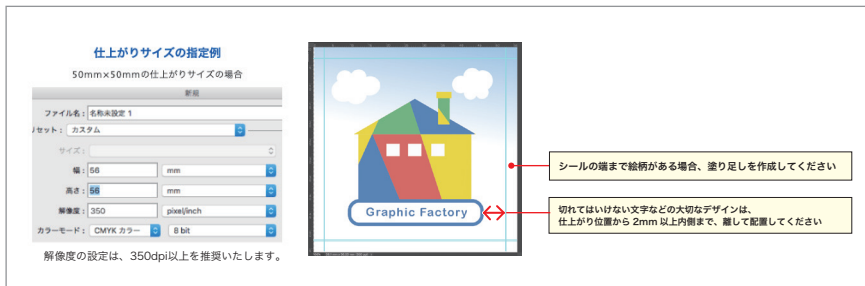
### ■ 定番形状でご注文の場合



#### 【Adobe photoshopなど画像形式でのデータ作成方法】

##### ①キャンバスを新規作成し、仕上りの希望サイズを設定してください。

※ステッカーの端まで絵柄や背景があるデザインの場合、「塗り足し」が必要です。  
塗り足しは、キャンバスサイズを天地左右それぞれ3mmずつ大きく設定してください。  
=合計すると、「ステッカー台紙の仕上がりサイズ+6mm」のキャンバスサイズとなります。



##### ②「定番形状」では、カット形状をデータ上で指示いただく必要はございません。

ご注文時に選択いただいた形状と、仕上がり希望サイズを元に、当社でカットパスを作成いたします。  
(正方形・長方形・角丸・正円・楕円でのご注文のみ)

### ■ その他の自由な形状でご注文の場合



#### 【Adobe photoshopでのデータ作成方法（作業用パスによる指示）】

##### ①デザインは原寸サイズで作成してください。

「自由形状」のご注文の場合、キャンバスサイズがA4など、大きく設定されていても問題ありません。  
ただし、配置するステッカーのデザインは仕上がり希望の「原寸サイズ」で作成ください。  
解像度の設定は、350dpi以上を推奨いたします。

##### ②次に、ステッカーを切り抜いて仕上げる位置を指定します。 切り抜く位置を示すカットパスは、「作業用パス」でご指示ください。

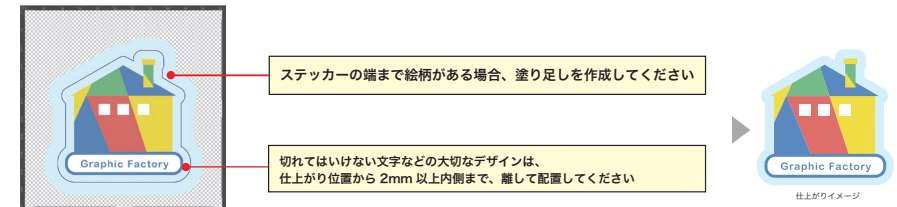
右図のように、パスパレットに表示される「作業用パス」にてカット形状をご指示ください。  
デザイン内に実線での指示をされた場合、印刷されてしまうため避けてください。

「作業用パスの作成方法」について詳しくはこちら

→[https://www.graphic.jp/comic/user\\_guide/create\\_cut\\_path](https://www.graphic.jp/comic/user_guide/create_cut_path)



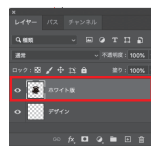
##### ③塗り足しが確保されているか、仕上がり位置に近いデザインがないか確認してください。



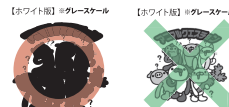
### ■ ホワイト版について…

一部の用紙では白インクオプションが選択可能です。  
白色の表現をしたい部分や透かせたくない部分には、白インクを引くための「ホワイト版」のデータを作成ください。  
(オプションで白インク先刷り・白インク後刷り・白インクのみいずれかをご選択いただいた方のみ)

- 右図のようにホワイト版レイヤーをご自身で追加いただき、  
白インクを使用したい箇所を、必ずグレースケールでご指定ください。



- グレースケールの濃度がそのまま白インクの濃度になります。  
綺麗な濃度差は表現できませんので、濃度は**K100%**をおすすめいたします。  
グレースケール変換するだけでなく濃度差のないようにご調整ください。



- スマートチェックを利用してご入稿いただく場合、  
ホワイト版がK100%で作成されていないデータは受付できません。

- 白インクが使用できる用紙でご注文の場合のみ、「ホワイト版」のご指示が必要です。  
左ページの項目をご確認ください。